

平成27年 年頭所感



東京都正札シール印刷協同組合
理事長 田中 浩一

あけましておめでとうございます。

組合員、会友ならびに協賛会の皆様におかれましては、明るく希望あふれる新年をお迎えしたことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、当組合に対しまして格別なるご支援、ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の経営環境を顧みますと、4月の消費税8%への増税により個人消費が落ち込み、我々の業界も苦戦を強いられました。

12月の衆議院議員選挙におきましては、与党の大勝という結果になり、外形標準課税の中小企業への導入や、扶養控除の廃止など、我々の生活を脅かす懸念がでて参りました。

当協組といたしましては、こうした厳しい中でも組合員、会友の皆様が安心して事業へ打ちこめる状況になりますよう、情報の発信や勉強会の開催など、皆様方のお役に立てますよう、一層の努力をしてまいる所存でございます。

そうした中、当組合では昨年、支部体制の再編を行いました。5支部から3支部へと変わり、協賛会の方々にも各支部会への参加を呼びかけました。その結果、支部会には以前よりも多くの方がご参加いただき、盛況の中にも意義ある懇談が出来るようになりました。今後とも、より多くの皆様の支部会へのご参加を、お願い申し上げます。

また、10月には、「第56回年次大会・東北福幸大会」へ当協組から60余名の参加をいただき、大会の成功に大きく貢献できたと感謝しております。本年の10月9日には、大阪で「第57回年次大会」が開催されます。どうか、東北福幸大会に負けないくらい多くの皆様のご参加をお待ちしております。

今年の干支「未（ひつじ）」について、群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らす意味だそうです。

組合員、会友ならびに協賛会の皆様におかれましても、いつまでも平和に暮らしていけるよう、未（ひつじ）年で弾みをつけ、飛躍の一年となります事を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。